

77 経緯度交差点標柱 (上比延町)

みどころいっぱい・西脇 ふるさと探訪



▲東経135度北緯35度の交点



▲大正13年竣工の経緯度交差点標柱



「日本のへそ」の起源は大正8年。多可郡で行われた小学校教師の研修会で、講師として招かれた肥後盛熊氏が「ここには日本の中心に当たる東経135度・北緯35度の交差点がある」と指摘したことに始まります。

経緯度交差点標柱は、大正13年に、旧陸軍参謀本部陸地測量部の計測に基づき、交差点の加古川河川敷に建立されました。

いつしかその存在は多くの人に忘れられていましたが、昭和52年の「みなおそうふるさと運動」で、「日本のへそ」を全国に宣言しました。

平成元年からは、ふるさと創生事業として「日本のへそです大作戦」を展開、PR活動などに努め、今では西脇市のまちづくりのシンボルとなっています。

編集室から

西脇市が全国に向け「日本のへそ」を宣言したのは昭和52年で、今年で35周年を迎えます。また、この年は西脇工業高校陸上競技部が全国高校駅伝大会に初出場を果たすなど、西脇市にとって非常に意義深い年です。

以降、日本へそ公園の整備や「北海道のへそ」富良野市との友好都市親善協定の締結、「全国へそのまち協議会」の結成など、今では「日本のへそ」は西脇市のまちづくりの原点となっています。一方、西脇工業高校は全国最多8度の優勝を誇る強豪校へと育ち、西脇市を「駅伝のまち」へと成長させてくれました。

先月の第4回西脇多可新人高校駅伝大会では、「駅伝のまち」らしく全市民を挙げて全国からの選手団を温かく歓迎しました。東日本大震災被災地からお招きした学法石川・田村高校は、力の限りの走りを見せてくれました。「日本のへそ」から被災地へ…スポーツを通じて熱いエールが届いたのではないのでしょうか。【H】

今月の一枚



「へそのまち物産展」にて。某人気グループのような華麗なパフォーマンスに来場者は大喜び！まもなくテーマ曲も披露されるとのことです。

発行／西脇市
編集／総務部秘書広報課

〒677-8511 西脇市郷瀬町605
TEL.0795(22)3111 FAX.0795(22)1014
西脇市HP / <http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp>

西脇の自然

キランソウ (しそ科)



西脇市動植物生態調査 研究グループ

日当たりのよい道端や庭の隅、山麓で見られるしそ科の多年草で、全体に縮れた毛があり、地面にへばりつくようにして広がります。美しい花姿を金欄に見立てたので、しよか、写真の上部には滅多にみられない珍しいモモイロキランソウも写っています。

別名がいろいろありチリメンソウ、サンカイソウ、奇抜な名前にジゴクノカマノフタがあります。お寺の境内でもよく見られ、地獄に落ちないように蓋をしているのだとも伝えられています。

古くは薬草として利用されイシヤイラス、イシヤナカセなどと呼ぶ地方もあります。

西脇多可休日急患センター

- ◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
- ◆診察日 日曜日
(年末年始を除く)
午前9時～午後5時

- ◆問合せ ☎23-5380
※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。
必ず健康保険証を持参ください。

3月の出務予定医師

3月 4日(日)	大隅 昭幸 先生
3月11日(日)	和田 良勝 先生
3月18日(日)	伊藤 通男 先生
3月25日(日)	戸田 忠一 先生